

# 全国学力・学習状況調査 調査結果概要 H27年度 西前小学校6年生

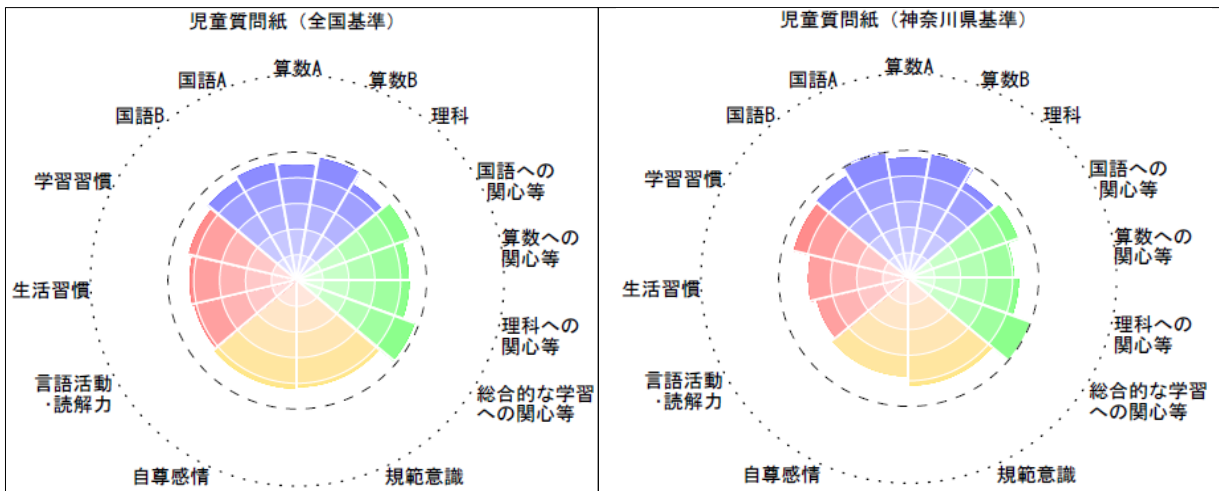
## 1 学力調査の結果(平均正答率)

	国語A(知識)	国語B(活用)	算数A(知識)	算数B(活用)	理科
横浜市立西前小学校	67.3%	60.5%	71.4%	43.1%	55.4%
神奈川県(公立)	67.9%	64.3%	74.0%	44.8%	60.4%
全国(公立)	70.0%	65.4%	75.2%	45.0%	60.8%
全国平均との差異	-2.7ポイント	-4.9ポイント	-3.8ポイント	-1.9ポイント	-5.4ポイント

### 【考察】

上記の結果、全教科において、全国、神奈川県の平均値を下回っています。特に、国語の活用問題が平均を下回っているのは、本や新聞などの活字離れが著しく、今後学校でも取り組んでいく課題だと感じています。算数は、知識の問題において、全国、神奈川県の平均値をやや下回っています。活用の問題は、ほぼ平均と同程度であると言えます。得点の散らばりを見ると個人差が大きく、定着が不十分な児童もいます。後期は、小学校の学習内容のまとめの時期となりますので、個別指導をしたり、苦手な分野を中心に繰り返し学習を行ったりしながら、基礎・基本の確実な定着をめざして、学習をすすめていきたいと考えます。また、横浜市の調査同様、計算のミスが多く、技能の定着が図られていない設問も見られましたので、さらに答えを見直すように指導していきます。

## 2 学力・学習状況調査(質問紙)の結果



※ 上記の円グラフは、点線(---)の円が、左右それぞれ全国、神奈川県の平均値です。点線より、外側にあるものは、平均を上回るプラスの側面、円の内側にあるものは、平均を下回るマイナスの側面と見ることができます。

### 【考察】

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して平均より下回っており、自尊感情を高めていく必要性を感じます。その一方で、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」という質問では、全国平均と同じことから、達成感はあるつつも、失敗を恐れて慎重になってしまう傾向や取り組み始めるまでに時間がかかる傾向があるとわかります。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問では、全国平均と同じであることから、昨年度より培ってきた学習が実りのあるものとなってきていることがわかります。算数への関心は、やや平均値を下回っています。質問ごとに見ると、「算数」の学習を大切だと感じている子どもは90%近くいます。「算数の勉強は好きですか」という質問に対しては、60%近い子どもが「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えています。今後、子どもたちが関心をもって算数の学習に取り組めるよう、身近なことから課題を設定したり、展開の工夫をしたりしていきます。理科への関心は、50パーセントを切っています。自然の中で遊んだことや自然観察の経験がこの地域特有のものとして少ないことから関心の少なさがあることが分かります。今後、視聴覚や実験を通して理科への興味・関心を培っていきたいです。